

製品名: BLK マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80554**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | マウスモノクローナル抗体 |
| 宿主 | ねずみ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | Mouse IgG1 |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | 57.7kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------------|
| 遺伝子名 | BLK |
| 別名 | MGC10442 |
| 遺伝子 ID | 640.0 |
| SwissProt ID | P51451 |
| 免疫原 | 大腸菌で発現した BLK の精製された組み換え断片。 |

背景

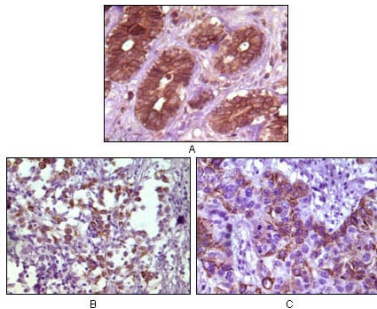
BLK (B リンパ球チロシンキナーゼ) は、505 アミノ酸のタンパク質 (約 56kDa) で、Src 非受容体チロシンキナーゼファミリーに属します。Src ファミリーキナーゼのさまざまな細胞内局在は、有糸分裂誘発、細胞骨格組織化、膜輸送などの特定の細胞プロセスの調

節に重要である可能性があります。BlkはBリンパ球によってのみ発現され、この系統に特有のシグナル伝達経路で機能すると考えられています。活性Blk変異体のBリンパ球発現は、B前駆細胞の増殖を引き起こし、これらの細胞のインターロイキン-7に対する応答性を高めました。したがって、Blkの持続的な活性化は、通常はプレBCRに関連する応答を誘発します。

研究分野

Jak-STATシグナル伝達経路

画像データ



パラフィン包埋ヒト乳房組織 (A)、リンパ組織 (B)、皮膚癌 (C) の免疫組織化学分析。DAB染色によるBLKマウスmAbを使用した膜局在を示しています。